

教育研究業績書

日付：2026年2月23日

氏名：重田 孝夫

研究分野	研究内容のキーワード
経営学	人的資源管理、組織行動、リーダーシップ、組織変革、人材育成

授業・教育向け業績

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	PRJ該当	招待論文該当	概要
1. 「相手の「感情に共感」する相槌を打つ」	単著	2023年9月	支援対話研究第8号	○		1on1で相手の「感情に共感」する相槌を打っている人は少ない。「感情への共感」の相槌を打てるようになれば、コールセンターや医療機関であればNet Promoter Score (NPS) の向上、会社のマネジャーであれば360度評価診断でのスコアの改善が期待できる。
2. 「日本の未来を変えるAI活用」	単著	2026年1月	SBI大学院紀要第13号			日本の構造的課題を打破するために、生成AIを中心としたテクノロジーを単なる効率化の道具に留めず、アセモグルらの知見を援用してAIを「人間の能力の拡張」と捉え、コッターの理論を応用した組織変革として展開する方策を提示している。

学術理論的研究業績

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	PRJ該当	招待論文該当	概要
1. 「変革リーダーを発掘・育成するアクション・ラーニングの考察」	単著	2022年1月	SBI大学院紀要第9号			実際に現場でのDXプランを立案、実践・展開する中で、優れた行動を発揮し、コンピテンシーを伸ばすことができる人材を見出し、育成するのに効果があるアクション・ラーニングを考察。
2. 「How to Set Good and Effective Objectives」	単著	2023年10月	7th International Conference for Economic and Business 2023	○		The paper explains a method for successfully setting specific, measurable, and challenging goals from the perspective of performance development, rather than performance appraisal.

実務的業績

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	PRJ該当	招待論文該当	概要
1. 「マーケティング分野をはじめとした生成AIのビジネスでの活用」	単独	2023年12月	日本商業学会 第13回全国研究報告会			2022年11月30日の公開からわずか1年で、ChatGPTが生成AIの新しい局面を開いた。GPT 4 Turboが2023年11月にリリースされ、ビジネスでの活用範囲が広がっている。今後の生成AIのビジネス分野での活用を展望する。
2. 「変化に対応する人事制度変革のレバレッジ」	単著	2024年1月	SBI大学院紀要第11号			アクション・ラーニング・グループを活用するなどして、生成AIの有効利用を推進することで、業務の改善やビジネスの革新を図り、業績を上げ、賃上げにつなげる変革の取組みについての考察。
3. 「生成AIパーソナルアシスタントが拓く起業の新時代」	単著	2025年1月	SBI大学院紀要第12号			各専門領域の知識を学習した生成AIを導入することで、起業家は自身が不得手とする分野でも効率的に対応できるようになり、ビジネスアイデアをより円滑に実現することが可能である。また、AIの支援により時間とリソースを節約し、より戦略的な意思決定に集中することができることを解説。